

印について (2026/07/31)

更新情報

- 2026/04/01 新規作成しました。
- 2026/04/06 項目「[好意と嫌悪を抱く者の印](#)」を追加しました。
- 2026/04/06 項目「[寿命の印](#)」を追加しました。
- 2026/04/06 項目「[死因の印](#)」を追加しました。
- 2026/04/06 項目「[備考](#)」の細項目「[備考 5](#)」を追加しました。
- 2026/04/07 項目「[美容を保つ印](#)」を追加しました。
- 2026/04/07 項目「[健康を保つ印](#)」を追加しました。
- 2026/04/11 項目「[冥府の住人を殺す印](#)」を追加しました。
- 2026/04/11 項目「[神を判断する印](#)」を追加しました。
- 2026/04/12 項目「[冥府の住人を殺す印](#)」を加筆訂正して、更新しました。
- 2026/04/13 項目「[調べる印](#)」を追加しました。
- 2026/04/13 項目「[ガイアと交信する印](#)」を追加しました。
- 2026/04/22 項目「[魂の共振を抑える印](#)」を追加しました。
- 2026/04/22 項目「[備考](#)」の細項目「[備考 6](#)」を追加しました。
- 2026/04/25 項目「[大いに冥府の住人を殺す印](#)」を追加しました。
- 2026/04/25 項目「[大いに魂の共振を抑える印](#)」を追加しました。
- 2026/04/26 項目「[大いに冥府の住人を殺す印](#)」を加筆訂正して、更新しました。
- 2026/04/26 項目「[大いに魂の共振を抑える印](#)」を加筆訂正して、更新しました。
- 2026/06/30 項目「[退避状況をお願いしますの印](#)」を追加しました。
- 2026/06/30 項目「[広範囲の退避状況をお願いしますの印](#)」を追加しました。
- 2026/07/31 項目「[啓示する印](#)」を追加しました。
- 2026/07/31 項目「[備考](#)」の細項目「[備考 7](#)」を追加しました。
- 2026/07/31 項目「[備考](#)」の細項目「[備考 8](#)」を追加しました。
- 2026/07/31 項目「[備考](#)」の細項目「[備考 9](#)」を追加しました。

1. 愛情の印

両手で三角形を作ります。

出る印の感覚が男性を愛している女性の愛情を表しています。出る印の数が愛している年数相当です。誰が何年愛しているか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。既定で出るのは、愛の契約をしている女性、恋の契約をしている女性の内、一番発情している女性になります。どんな女性がいますか調べたいときは、調べたい女性のフルネ

ームを口で唱えて印を組むのがよいと思われます。また、我が好意を抱きし者である〇〇と言う者を口で唱えて印を組むと好意を抱いている女性か調べられます。(同姓同名の違う女性ではないと言えます。)

2. 深い愛情の印

両手を合わせて拝みます。

出る印の感覚が男性を愛している女性の深い愛情を表しています。望んでいる子供の数相当を表しています。誰が何人子供を欲しがっているか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。既定で出るのは、愛の契約をしている女性、恋の契約をしている女性の内、一番発情している女性になります。どんな女性がいるか調べたいときは、調べたい女性のフルネームを口で唱えて印を組むのがよいと思われます。また、我が好意を抱きし者である〇〇と言う者を口で唱えて印を組むと好意を抱いている女性か調べられます。(同姓同名の違う女性ではないと言えます。)

3. 愛の契約を持つ者の印

左手を垂直にして、右手を水平にして、左手の肘と右手の甲を引っ付ける。

出る印の感覚が男性に対して愛の契約を持つ女性の数を表すと聞いています。何人と愛の契約を持つか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。愛の契約は、女性が結ぶことができます。愛の契約は、解除できません。女性が、愛の契約に反して、他の男性と性交渉を持つと、死に至ります。新たな肉体を下賜されることになります。他の男性と性交渉を持つとは、胸などの極部を直に触られることになると聞いています。愛の契約は、女性の自慰後、愛液を女性が口で舐めると成立します。誰と契約を結ぶと文言で唱える必要はないと聞いています。誰を思って、自慰したか自動判定されます。愛液量が足りない場合、愛の契約はできないと聞いています。

4. 恋の契約を持つ者の印

右手を垂直にして、左手を水平にして、右手の肘と左手の甲を引っ付ける。

出る印の感覚が男性に対して恋の契約を持つ女性の数を表すと聞いています。何人と恋の契約を持つか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。恋の契約は、女性が結ぶことができます。恋の契約は、解除できます。女性が、恋の契約に反して、他の男性と性交渉を持つと、死に至ります。新たな肉体を下賜されることになります。他の男性と性交渉を持つとは、胸などの極部を直に触られることになります。また、恋の契約の有効期限は、生理までになります。恋の契約は、女性の自慰後、愛液を女性が左胸の乳首につけると成立します。恋の契約の解除は、女性の自慰後、愛液を女性の右胸の乳首につけると成立します。誰と契約を結ぶと文言で唱える必要はないと聞いています。誰を思って、自慰したか自動判定されます。愛液量が足りない場合、恋の契約はできません。

5. 愛する者の印

右手と左手を胸の前で、エールの様に交差させて、左手を上、右手を下にする。

出る印の感覚が男性を愛する女性の数を表していると聞いています。男性を何人の女性が愛しているか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。女性の場合、愛の契約若しくは恋の契約をしている男性を愛する女性の人数を表すと聞いています。また、何人の女性が男性を愛しているか啓示されると聞いています。

6. 恋する者の印

右手と左手を胸の前で、エールの様に交差させて、右手を上、左手を下にする。

出る印の感覚が男性に恋する女性の数を表していると聞いています。男性に何人の女性が恋しているか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。女性の場合、愛の契約若しくは恋の契約をしている男性に恋する女性の人数を表すと聞いています。また、何人の女性が男性に恋しているか啓示されると聞いています。

7. 好意と嫌悪を抱く者の印

両手のこぶしを握り、腹の前で、握ったこぶしの指が合う様に合わす。

13 つの印が出る感覚の後に、自分に好意を抱く者の人数と自分に嫌悪を抱く者の人数が、啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。対象は、惑星地球在住の者と天国在住の者などのすべての世界の者になると思われます。

8. 寿命の印

右手の親指と人差し指で丸を作り、他の指は伸ばす。

出る印の感覚が、自分の今の肉体の残り寿命を表すと聞いています。また、自分の今の肉体の残り寿命が、啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。

9. 死因の印

左手の親指と人差し指で丸を作り、他の指は伸ばす。

13 つの印が出る感覚の後に、自分の今の肉体の死因になると思われる原因が、啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。

10. 美容を保つ印

両手を胸の前で組み、左手を前、右手を後ろにし、印が出る感覚を得る。

印が出る感覚が、365 日の内、美容を保つと思われる日数を表していると聞いています。また、美容を保つと思われる日数が啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。美容は、大健康と言えると聞いています。

1 1. 健康を保つ印

両手を胸の前で組み、右手を前、左手を後ろにし、印が出る感覚を得る。

印が出る感覚が、365 日の内、健康を保つと思われる日数を表していると聞いています。また、健康を保つと思われる日数が啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。

1 2. 冥府の住人を殺す印

両手を真っ直ぐ前に水平に伸ばして、両手を合わせる。

13 つの印が出る感覚の後に、周囲の冥府の住人を殺した旨の啓示がされます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。対象となる周囲は、同じ町ぐらいになると聞いています。

1 3. 神を判断する印

両手を胸の前で交差させて、掌を前にして、掌は開く。

13 つの印が出る感覚の後に、見ている者の中に神がいるかどうかの啓示がされます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。顔者写真などでも、代用可能となると思われます。

1 4. 調べる印

両手を胸の前で交差させて、掌は外にして、掌は開く。

13 つの印が出る感覚の後に、「質問を言ってください。」という旨の啓示がされます。質問事項を口で言った後、返事が啓示で行われます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。調べる印は、善と思ひし者に下賜されていると思われます。

1 5. ガイアと交信する印

両手を水平にまっすぐ伸ばして、交差させて、掌は外にして、掌は開く。

13 つの印が出る感覚の後に、「ガイアです。」という旨の啓示がされます。質問事項を口で言った後、返事が啓示で行われます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。ガイアと交信する印は、神の呪文以上の呪文を下賜されている者に下賜されていると思われます。また、神の呪文以上の呪文を下賜されている者と愛の契約を持っている者にも、下賜されていると思われます。

1 6. 魂の共振を抑える印

両手を胸の前で交差させて、掌を胸の方に向けて、掌を握る。

13 つの印が出る感覚の後に、自分の魂の共振を抑えた旨の啓示がされます。啓示とは、感

じるままに口にすることになります。幻聴、啓示もどき、幻視がひどい場合に有効だと思われます。

17. 大いに冥府の住人を殺す印

両手を前に伸ばして、肘を曲げて、まっすぐ垂直に伸ばして、三角になる様に両手を合わせる。

13つの印が出る感覚の後に、自分の周囲の広範囲の冥府の住人を殺した旨の啓示がされます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。対象となる周囲は、呪文と同じぐらいの範囲になると聞いています。絶対の呪文を下賜された者の一人が発案した形になります。

18. 大いに魂の共振を抑える印

両手を前に伸ばして、肘を曲げて、掌を握り、指を胸の方に向ける。

13つの印が出る感覚の後に、自分の周囲の広範囲の魂の共振を抑えた旨の啓示がされます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。幻聴、啓示もどき、幻視がひどい場合に有効だと思われます。対象となる周囲は、呪文と同じぐらいの範囲になると聞いています。絶対の呪文を下賜された者の一人が発案した形になります。

19. 退避状況をお願いしますの印

右掌を握り、人差し指と中指は伸ばす。

現在在住の地に悪と思ひし者がいない場合、13つの印が出る感覚がします。また、その旨の啓示がされます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。現在在住の地に悪と思ひし者がいる場合、印が出ず、その旨の啓示がされます。

20. 広範囲の退避状況をお願いしますの印

左掌を握り、人差し指と中指は伸ばす。

現在在住の丁目に悪と思ひし者がいない場合、13つの印が出る感覚がします。また、その旨の啓示がされます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。現在在住の丁目に悪と思ひし者がいる場合、印が出ず、その旨の啓示がされます。

21. 啓示する印

文言などを唱えた後、両手を上に挙げて、掌を合わす。

文言などを唱えた後、印を結びます。文言などは、「唱えられし者は、〇〇と言う呪文の定義とする。文言は、△△とする。」になります。13つの印が出る感覚がした後、〇〇と言う呪文の定義に△△という文言の啓示が行われます。文言などが、正しい構文である場合、13つの印が出る感覚がします。脳表に対して、啓示が行われます。脳表に入った啓示は、36分

間、感じるままに口に出来ます。啓示する印は、善と思ひし者に下賜されています。

2.2. 備考

- 愛の契約は、一度契約すると解除できないと聞いています。女性が体調不良などで愛液量が愛に届かない場合でも、愛の契約は、解除されないと聞いています。
- 愛の契約若しくは恋の契約を持つ男性と女性同士で、神聖の儀式と言う疑似性交が出来ます。神聖の儀式には、男性からの神聖の儀式と女性からの神聖の儀式があります。男性からの神聖の儀式は、男性が自分の乳首を触ると愛情の印などで名前が啓示される女性と開始されます。女性からの神聖の儀式は、愛情の印などで自分の名前が啓示される状態で、右手若しくは左手で、愛の契約若しくは恋の契約を持つ男性の疑似男根を握ると開始されます。
- 男性からの神聖の儀式は、男性が自分の乳首を触ると開始されます。女性の喘ぎ声が、啓示で、感じるままに口に出来ます。自分の乳首を触ると、女性の乳首を触った相当になり、愛撫相当になります。自分の男根を握ると、女性の陰部に挿入相当になります。自分の男根をしごと、疑似性交相当になります。尚、男性の声は、女性に、啓示されない為、女性は、感じるままに口にできません。
- 女性からの神聖の儀式は、女性が、右手若しくは左手で、愛の契約若しくは恋の契約を持つ男性の疑似男根を握ると開始されます。握った男性の疑似男根を女性の陰部に入れる仕草をすると、女性の陰部に挿入相当になります。男性の疑似男根を握った右手若しくは左手を動かすことにより、疑似性交相当となります。
- 男性が持てる愛の契約若しくは恋の契約をしている女性の人数は、計 365 人と聞いています。
- 完璧な大人に関する考えにおける不完壁な大人と思ひし者と新たな肉体を下賜されない者は、愛の契約若しくは恋の契約を出来ない形になると聞いています。不完壁な大人と思ひし者と新たな肉体を下賜されない者に分類されると愛の契約若しくは恋の契約は、解除されると聞いています。
- 啓示をする印において、啓示を行い、感じるままに口にされると顔見知り関係が成立します。好意若しくは嫌悪を抱かれることとなります。嫌悪を抱かれるような啓示を行う事は、怨嗟になる為、注意が必要です。
- 啓示と啓示もどきとの見分け方になります。啓示は、一度、感じるままに口にすることをやめても、再度、感じるままに口に出来ると聞いています。啓示もどきは、一度、感じるままに口にすることをやめた場合、再度、感じるままに口にできないと聞いています。尚、脳表に入った啓示を啓示もどきなどで破壊する事は、出来ないと思われると聞いています。
- 啓示のキャンセル方法になります。啓示を感じるままに口にして、6 秒以上、感じるままに口にするのをやめると、啓示のキャンセルになります。脳表に入った次の啓示を感

じるままに口に出来ます。